

# 西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



12月定例会  
第150号

TOPICS

▶ Web会議形式で勉強会を開催 ▶ 西宮市長選挙、市議会議員補欠選挙



撮影場所：西宮市高須町2丁目「赤胴車のある広場」

## CONTENTS

- 12月定例会の主な内容、審議日程など…………… 2
- 一般質問、3月定例会の開催予定…………… 3～8
- 委員会の活動状況…………… 9～10
- 議案等審議結果一覧表…………… 11
- Web会議形式で勉強会を開催、  
西宮市長選挙、市議会議員補欠選挙…………… 12

# 12月定例会

## 主な内容

12月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。

補正予算(第10号) 可決・賛成多数

### 補正予算の概要

#### ▽西宮市商店街活性化事業

新型コロナウイルス感染症拡大により飲食店等の休業や人流の減少、集客イベントの自粛などが続いている商店街等を活性化するため、アーケード及び防犯灯等の管理経費や、ウィズコロナ・アフターコロナにおける集客に向けた取り組みに対して補助金が給付されます。

#### ▽新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業(追加接種)

令和3年9月に国の審議会で、ワクチンの追加接種(3回目接種)を行う必要があり、実施時期は2回目接種完了からおおむね8カ月以上後が妥当であるとの見解が示され、国から各自治体に追加接種の体制確保を求める通知がありました。市では追加接種を実施するため、接種クーポン券の発送や専用コールセンターの設置(延長)、ワクチンの管理、接種会場の開設などの体制確保が進められます。

条例(市長提出) 可決・賛成多数

### 西宮市記号式投票に関する条例

(12ページに関連記事掲載)

公職選挙法では、条例で定めることにより、地方選挙における「記号式投票」の実施が可能とされています。市では、今後実施される左記の選挙で記号式投票が採用されます。記号式投票では、投票用紙に各候補者の氏名が印刷されており、投票しようとする候補者1人に「○」を記入します。なお、期日前投票や不在者投票、点字投票は、従来どおり候補者名を記入する自書式で行われます。

#### 〈記号式投票方式が採用される選挙〉

- ①西宮市長選挙
- ②西宮市長選挙と同時にに行われる西宮市議会議員補欠選挙

### 所管事務調査(民生常任委員会)

〔仮称〕第二次西宮市空家等対策計画(素案)に係るパブリックコメントの実施  
市では平成29年度に「西宮市空家等対



### 主な審議日程

11月	
29(月)	本会議 提案説明
12月	
3(金)	本会議 一般質問(16人)
6(月)	
7(火)	
8(水)	本会議 一般質問(2人)、質疑、委員会付託
10(金)	常任委員会(総務、健康福祉、教育こども)
13(月)	常任委員会(民生、建設)
16(木)	常任委員会(健康福祉、教育こども) 本会議 委員長報告、討論、採決

策計画」を策定し、啓発など予防的な対策に重点を置いた取り組みが進められてきました。人口減少や所有者不明土地の問題など状況が変化しています。

西宮市は全国的に見ると、空き家の数も管理状態も比較的良好な状況にあります。が、空き家数の抑制や空き家を良好に保つ対策を図る必要があるため、将来を見据え、より適切な管理の促進に力を入れた計画へと改定が行われます。計画の策定に際し、令和3年12月から4年1月にパブリックコメントが実施されました。

### 所管事務調査(健康福祉常任委員会)

#### 中央病院跡地活用検討の進捗

令和7年度に予定している県立西宮病院と市立中央病院の統合に伴う新病院の開院をもって、市立中央病院は閉院となります。病院の跡地活用に関しては、地域懇談会、民間医療機関や民間事業者との意見交換などを通じて地域の医療環境に及ぼす影響等が検討されてきました。現時点の進捗状況として、跡地に民間

医療機関の誘致を進めていくこと、残りの土地には収益面だけでなく、行政課題の解消に資する活用等も視野に入れて検討を進めていることが報告されました。

### 所管事務調査(教育こども常任委員会)

#### 西宮市幼児教育・保育、ヒジヨン(素案)

西宮市における幼児教育・保育で大切にしたいことを共有し、質の高い幼児教育・保育を実現していくための方向性を分かりやすい言葉で保育者や保護者に示すことを目的に、「西宮市幼児教育・保育ビジョン」が策定されます。本ビジョンを教育・保育活動や研修資料として活用し、「子ども中心の幼児教育・保育」の実現を目指した取り組みを進めていくことが報告されました。

### 請願

▽国に対し「沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書」の提出を求める請願

【みなし採択】

# 一般質問

18人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。



無所属 一色 風子

## 化学物質過敏症やHSCに対する広報啓発を

問 学校園では化学物質過敏症やHSC等に対して個々に対応している。西宮市に当事者がいることを知ってもらい考えるきっかけとなるような市独自ポスター等を作成しホームページ上でも啓発等をしてはどうか。

答 香料を原因とした化学物質過敏症の病態や発症メカニズム等に不明な部分が多く、国民生活センターが消費者や関係機関への情報提供を行っているため、ポスターやチラシは国作成のものを活用する。今後は、化学物質過敏症の情報や公共の場での配慮を周知するため、保健所、消費生活センターのホームページや市主催講座、イベント等を通じた広報啓発を検討する。

▼その他の質問 西宮市の保育庁舎内での託児

(質問時間26分)



消費者庁啓発ポスター

## 介護保険料滞納者への対応



日本共産党 西宮市会議員団 野口 あけみ

問 65歳以上高齢者の介護保険料は、ほとんどの方が年金天引きであるため納付率は全体で99%以上である。一方、年金額が月1万5千円以下の方等は納付書等で支払うが、滞納が少なからずある。滞納者には介護保険利用時に給付を制限される罰則や、貯金、年金の差し押さえが行われている。年金天引きも給付制限の罰則等も高齢者にとって過酷な制度だ。差し押さえを実施していない自治体は6割あり、本市でもせめて差し押さえはやめるべきではないか。

答 介護保険料は介護保険運営の貴重な財源であり、繰り返しの納付勧奨にも応じない納付資力のある方には、公平性の見

地から滞納処分も必要と考える。

## ごみ指定袋制度導入の延期

問 ごみ指定袋制度導入が2022年4月に予定されている。燃やすごみに分別すれば資源となる古紙類が33%混入している等の実態から、半透明の指定袋に変え、ごみ減量をめざす目的だが、市民には十分周知されていない。コロナの影響で説明会開催が少ないことも一因であり導入延期を検討すべきでは。

答 市政ニュースでの告知や制度導入の案内文の全戸配布等様々な手段を講じて広報を行い、指定袋販売店の協力も得ながら4月に制度を開始する予定。

(質問時間49分)



西宮市指定ごみ袋



大原 智 公明党議員団

## 市内事業者への発注機会の拡大

問 庶務担当者が市内事業者優先発注の趣旨を十分に理解するための研修はどのように行うのか、市内事業者への優先発注の仕組みづくりは事業者と意見交換を行いながら進めていくべきと考えるが、以上についての考えは。

答 毎年行っている庶務担当者向け研修に市内事業者への優先発注の内容を追加するとともに、発注状況の資料を各局に配付して意識付けを行う。今年度、西宮商工会議所に市内事業者で構成する物品調達等受注機会拡大連絡会が立ち上げられ、市に要望書が提出された。今後も定期的に連絡会との対話を実施し、優先発注の仕組みづくりを進めていく。

## リサイクルボックスの異物混入対策

問 自販機横のリサイクルボックスの異物混入が、資源循環の阻害要因となっていることをどのように解決するのか。

答 企業側でもリサイクルボックスの設置と空容器の適正処理・散乱被害防止に取り組んでいただいている。市としても、

ポイ捨てや不法投棄防止の啓発、地域清掃ボランティア活動への積極的な参加を呼びかけ、自動販売機横のリサイクルボックスに空き缶やペットボトル以外の異物を混入しないよう各種広報媒体を通じて周知啓発に努める。

(質問時間38分)



無所属 よつや 薫

## 市長選挙等の記号式投票

問 3月の市長選挙は最高裁判官の国民審査と同様の「記号式」で実施されようとしている。右側の裁判官に×印の確率が高くなる「順序効果」が指摘されている。どう考えるのか。

答 本方式は公職選挙法で認められたもので、投票用紙の掲載順序はくじで決定する。法に



のつとった執行で順序の決定は公平性を担保できると考える。

女性議員を増やす取り組み

西宮市議会の女性議員比率は阪神7市1町で最低。一方「女性ゼロ議会」だった兵庫県小野市は、「女性議会」の講座など意識向上に努め、2019年には女性議員を16人中7人と増やした。西宮市も、積極的な取り組みが必要ではないか。

執行側である市が、チェック機能である議会の構成に関してどこまでのことを行うべきかは、協議を深め、議会全体の意見を伺って形にしていきたい。



コロナ下の女性の自殺対策

コロナ下で女性の自殺者数が増えている。自殺を防ぐ対策強化について、今後、どのように取り組んでいけるか。

令和5年度に策定を予定している西宮市自殺対策計画に専門相談窓口、研修、関係者との連携を位置付け、効果的に実

施できるよう進めていく。(質問時間64分)



公立保育所の在り方

今後の少子化を見据え、公立保育所の統廃合など、将来の方向性を示し、民間事業者と共に備えるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

地域の実情に応じて定員を超えた受け入れの縮小等を検討するほか、公立及び私立保育所の在り方を、幼稚園も含めて検討し方向性を示していく。

指定ごみ袋導入後収集されないごみの基準

指定ごみ袋でない「燃やすぐみ」の基準が曖昧では混乱が生じる。基準を聞きたい。

指定袋以外の袋で排出されている場合、啓発ステッカーを貼りその場に残置する。指定袋の定着後は適切に分別されていないごみの残置も検討する。

ごみステーションに残置されたごみの収集

生ごみが含まれた燃やす

ごみは、収集されずに長時間放置されると不衛生であることから、一部の住民の負担が増大することが懸念される。残置されたごみの対応を聞きたい。

放置状態が長期間になると衛生上等の問題があるため、定期収集とは別に、一定期間経過後残置したごみを収集することも含めて対応方法を検討する。その他の質問 西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業、道路の管理(質問時間57分)



アスリートの学校派遣事業

小学校へのアウトリーチで終わるのではなく、中学校における専門種目指導者として活躍してもらえないか、またスポーツクラブ21への派遣など、多

岐にわたり活躍していただける場所があるように感じるが、本市の考えはどうか。

今年度、小学校7校で陸上競技のトップアスリートに授業をしていただき、子どもたちにとって特別な体験となった。小中学校や特別支援学校、スポーツクラブ21を対象にアスリートを派遣するなど、子どもへのスポーツを通じた成長機会提供と可能性を引き出すとともに、専門種目の指導者不足解消につなげる事業を推進していきたい。

高齢者施設における面会制限

現在、多くの高齢者施設においては、オンライン面会を原則とするなど面会制限がなされている。自由な面会ができることが望ましいと思うが、本市の考えはどうか。

高齢者施設ではひとたび感染者が発生すると、重症化やクラスターとなるリスクが高い。面会制限は、利用者とその家族の心身の健康に与える影響が大きく、自由に面会できることが望ましいが、今後の感染状況の先行きが不透明な中においては、引き続き県の対処方針に従った

感染対策が重要と考えている。(質問時間46分)



名塩地区コミュニティバスへの支援

名塩地区コミュニティバスが来春にも試験運行の予定とのことだが、市の支援内容について聞きたい。

技術面のサポートとして、地域の住民代表者による準備委員会の会議への市職員の出席、交通アドバイザーの派遣、関係機関や交通事業者との連絡調整などを実施。神戸市生野高原の運行ルートについては、神戸市の担当者と運行経費等の負担割合等の協議を行っている。今後、試験運行の実施時には予算の範囲内で3年間を限度に運行経費や会議運営経費を補助していく。

名塩道路の整備状況

名塩道路整備の進捗状況





西宝橋(仮橋)

(質問時間54分)

について聞きたい。

答 生瀬地区は大多田橋付近の切土工事が令和4年2月の完了目標。西宝橋は交差点改良工事等を行い4年秋に仮橋に切り替え、その後、道路改良工事等を行い8年春に開通予定。東久保地区は赤坂峠西交差点の東側区間の用地買収を進める予定。現在は名塩さくら台入口付近で名塩川の付け替え工事を施工中。今後、名塩茶園町交差点付近の橋梁工事に着手する予定。

▼その他の質問 教育大綱の見直し、行政経営改革、地域課題(医療課題①医療圏域境界地域におけるコロナ対応②隣接医療圏域での病院統廃合)

問 核兵器禁止条約が2022年1月22日に発効した。22年

核兵器禁止条約締約国会議「」に対する市長の考え



市立中央病院

問 統合移転する予定の市立中央病院跡地について、2021年3月議会でも取り上げたが、民間事業者との意見交換の現状を聞く。

答 サウンディング型市場調査を2回行い、民間事業者からは医療、商業、住居系等の複数用途での跡地活用が現実的との提案があり、病院の新規開院や現病院移転の提案も受けている。

まつお 正秀  
日本共産党  
西宮市議会議員

市立中央病院跡地に関する  
民間事業者との意見交換

問 塩瀬・山口地域において、高齢化や人口減少等の諸問題の対策の為、他市が実施している

移住支援事業



問 塩瀬・山口地域において、高齢化や人口減少等の諸問題の対策の為、他市が実施している

答 3月には批准国だけでなく、すべての国が参加できて発言もできる締約国会議が開催される。3年前に私は市長に対し、この条約に反対している日本政府に条約参加をすべきと求めるよう質問したが、政府の専横事項であると明確な答弁をもらえなかった。今年の国民平和大行進団に市長が手渡したペナントには、「日本政府は核兵器禁止条約に参加を」と印字された文字間に、手書きで「まずはオブザーバー」と書かれていた。このメッセージに込められた思いを聞く。

答 会議には条約に参加していない国もオブザーバー参加ができる。核兵器の無い恒久平和は全人類共通の願いであり、唯一の戦争被爆国として会議に参加することで、世界平和に貢献できるのではとの思いによる。

問 測定の種類や投入機材を最大限活かし、違法が疑われる

特定建設作業への対応

問 解体工事等による騒音、粉じん等による市民からの苦情件数が増加している。騒音等が法令上の規制基準内であるかの本市のチェック体制は十分とはいえない。連続した規制基準の超過が認められる場合、直ちに是正勧告を行うべきではないか。工事現場周辺住民に対して事業者がいつ、どこで、誰に対して工事の説明を行っているのかを市は把握すべきだと考える。神戸市の様式を参考に事業者からの届出内容を見直すべきだが市の見解は。

答 給付による移住支援ではなく地域の魅力を高める取り組み等で転入促進を図る。県の移住支援事業への参画は今年度以降の実績を踏まえ検討していく。

問 高齢化が進む中、「ここやか収集」の地域資源・社会資源の活用を考えは。

「ここやか収集」の活用

問 ギガスクール端末使用によるいじめの防止

答 児童生徒の端末には安全確保に必要な機能制限を行い、各校における子供への情報モラル指導、教員のICT活用指導力を高めることなどを通じて、ICTリテラシーの向上を図る。

問 ギガスクール端末使用によるいじめの防止

松山 かつり  
公明党議員



案件は積極的に対応する。届出書の様式等の見直しを含めたルールを定め周知していく。

(質問時間49分)

について他自治体の実施手法等の調査研究を行い本市の実情に合った効果的な施策を検討する。



にこやか収集の様子

部活動による校区外通学

校区変更により希望するクラブがない場合、伊丹市では「伊丹市立中学校区域外通学取扱い基準」において、承認事由に該当すれば通学距離が近い学校などの条件で校区外への通学が可能となる。本市も柔軟に取り組むべきでは。

教育活動や施設面の課題があるため部活動による変更は認めていない。本市では、複数の学校の生徒が合同で練習を行う中学校部活動複数校方式や学連携型部活動を導入しており、今後も地域の実情を踏まえた部

活動の在り方を検討していく。

(質問時間54分)



福井 浄  
維新の会  
西宮市議員

家庭環境にに応じて児童生徒に通信機器の貸与を

教育大綱では、置かれた環境や状況等に関わりなく必要な教育機会と支援を受けられるまちとある。経済的な理由等で家庭の通信環境が整っていない児童生徒に通信機器を貸与すべき。臨時休業等の緊急時にネット接続が必要な際は、市の負担で通信機器を貸し出す。平時の貸与は、運用上の課題に対し、庁内での慎重な調整が必要。

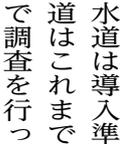


最新技術を活用した上下水道管路更新計画を

近年頻繁に起きる道路等の陥没や断水。原因の一つは、管路特有の状況による経年劣化。効率的な管路更新の為、人工衛星やAIなど最新技術を活用し、

更新計画を立ててはどうか。

(質問時間55分)



澁谷 祐介  
会派・ぜんしん

人事評価の見直し

現状の市の人事評価は、目標の設定、努力の評価、業務量の相違等に問題がある。組織が目的の為に機能するように、OKRやバリュウ評価等、定量的、定性的な評価を導入しては。OKRやバリュウ評価は、一定の効果が期待されるものと認識している。今後見直しを進める中で、新しい手法のメリットの取り入れを検討していく。



澁谷 祐介  
会派・ぜんしん

保育所業務のICT化

保育所業務のICT化の推進に対する市の見解は。業務効率化に向けた課題の抽出と改善策の検討を進め、先行事例の調査などを通じて、保育所業務におけるICTの効

果的な活用についても検討する。



地域団体の負担軽減と連携強化

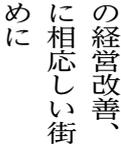
地域活動の支え手の高齢化等、地域の力は弱まっている。地域団体の負担軽減、団体間の連携強化のための取り組みの推進に対する市の見解は。庁内で各種団体の現状や実態把握等を横断的に情報共有し、地域力向上に向けた課題を整理のうえ、各部署におけるこれまでの取り組みとも連携してより良い支援策を検討していく。

環境学習事業の在り方

本市の環境学習事業の多くを、市OBが役員を務める法人が非公募で受託している。複数の候補から選定するよう改めるべきと考えるが市の見解は。脱炭素社会の実現など、環境問題が大きな転換を迎えており、これまでの本市の環境学習の特徴も踏まえながら、効果的、効果的な事業の実施手法に

について調査検討していく。

(質問時間85分)



かみたに ゆみ  
政新会

ごみ袋の開封調査

分別されていないと思われるごみ袋を市職員が開封調査を行い内容物より個人を特定し注意、罰金を課する事をしていく市もあるが、今後指定ごみ袋導入に伴いこの様な制度を導入するかの考えは。公益目的のため開封調査の可能性もあるが、繰り返し適正なごみ出しを依頼しても改善されない場合や悪質なケースなど必要最低限の運用にとどめる。

マスク生活による健康への影響

マスク生活による健康への影響について、その対策について市の考えと今後の取り組みについて聞きたい。歯周病や口腔機能低下防止のため、市政ニュース等で口

腔体操を紹介しポスター等の配布も予定。歯周疾患検診や長寿歯科検診の活用も勧奨している。



マスク生活による子供への影響

マスク生活は子供にとっても、大人以上に感情を理解、表現したり、コミュニケーションしたりする事が難しいと考えられる中、新たな生活様式に合った学びの場とはどのようなものがあるべきと考えているか。

適切なマスクの着脱に留意する等、健康と安全を確保しつつ、ICT機器も有効活用し、子供たちの主体的な学習が保障された場だと考えている。

(質問時間59分)



中尾 孝夫  
市民クラブ改革

市長の1期目の自己評価は

3月27日に次期市長選が執行されるが、石井市長の1期

目4年間の自己評価はどうか。

何よりもまず堅実に市政を運営すること、そして文教住宅都市としてふさわしい施策を一つ一つ積み上げることに腐心してきた。一方で、もっと早く動けたということや、もっと踏み込んだこともあると感じており、主観としてはぎりぎり及第点の70点ぐらいと考えている。

市長の2期目に挑む思いは

次の2期目4年間にどのような思いをもって挑むのか。

2025年の市制100周年の時点で名実ともに文教住宅都市として内外から高い評価を受けるまちであることが大きな目指す姿であり、教育・子育てを軸に、シチズンシップの醸成、地域力の向上を市民の皆さんと進めていく。また、社会資本整備の着実な進展についても重要と考えている。通すべき道路は通し、維持し、建て替えが必要な施設にはきちんと手当てをし、快適で良質な住環境を次の世代に引き継ぐ。また、地球環境問題にも積極的に取り組み、山口、塩瀬、甲山という豊かな山々、甲子園浜、御前浜という

自然の残る海辺といった自然環境の恵みを享受し、守りはぐくむ環境学習都市としての機運を盛り上げる4年にしていきたい。

(質問時間44分)



田中 あきよ  
市民クラブ改革

視覚障害のある方の安全確保のための信号機等

視覚障害のある方の安全確保のための信号機等

音響信号機の設置が難しい交差点に新たに開発された信号機設置を要望するがいかがか。

スマートフォンを活用した歩行者等支援情報通信システム(高度化PICS)の導入については、県の導入後の検証結果や関係機関の意見を確認しながら警察へ整備を要望していく。

行きたいと思える学校へ

発達障害やHSC(一人一倍敏感な子)と言われる子どもたちへの対応や支援を問う。

全ての教職員が多様性を尊重した学級づくりができるよう研修会等を通じて指導助言している。また、それぞれの子どもに合った対応が可能となるよう保護者が遠慮なく学校に相談できる雰囲気づくりや、小・中

学校の円滑な連携、授業や特別活動の中で子どもたちの自己肯定感を育む取り組みを進める。



聴覚障害者のための手話通訳の必要性

手話は言語であると条例で定めている。まずは市長動画に手話通訳が必要ではないか。

まずは緊急性、即時性が高い災害対応やコロナウイルス感染症対応に関する市長動画への手話通訳導入に向け、関係部局・関係機関と協議を行う。

その他の質問 新型コロナウイルス感染症に関する差別禁止条例の設置 ほか

(質問時間69分)



吉井 竜一  
政新会

保育士の確保

本市は保育ニーズの高ま

りによって待機児童が発生する状況が続いている。その問題に向き合い、待機児童解消に向けて前進し、これまで成果を上げてきた。しかし、対策以上に保育ニーズが高まり、本市はそれに応えきれない現状にある。待機児童の問題は箱の確保もそうだが、人、つまりは保育士の確保も急務となる。その方法の本道は新卒生の採用である。最近ではこの保育士の確保のために各自自治体が躍起になってお金を使っており、近隣市ではその取り組みが顕著で、市としての対応も問われる状況と考える。保育士確保の問題が少しでも緩和ができ、市民のニーズに応えられる体制が整うことを思い、質問する。近年、各市で補助金や支度金などのお金を用意しての保育士確保策が主流となり、エスカレートするばかりだが、それに対する本市の考えは。

本市では保育士の確保と定着を一体的かつ効果的に行う施策が重要と考えている。定着率向上では、利用者からの評価の高い市独自の奨学金返済支援事業と宿舍借り上げ支援事業を引き続き進める。一方、確保の

面では、近隣市が軒並み実施する保育士への一時金補助制度を検討する必要性を認識しており、今後も他市の動向を注視し、確保策をより推進していく。

(質問時間54分)



さくらやまなみバスの利用促進

自然豊かな北部地域でのアウトドアや有馬温泉観光をテーマにしたマイクロツーリズムに取り組み、「さくらやまなみバス」の利用客増につなげてはどうか。市の考えを聞きたい。

実させ、さくらやまなみバスの利用につながるよう取り組む。



さくらやまなみバス

児童相談所設置の将来構想

本市は現在、子ども家庭総合支援拠点が立ち上げの最終段階に入っているが、児童相談所の設置についての将来構想を聞きたい。

子供の命を守ることが何より一番大切であり、まずは令和4年1月に設置する子ども家庭総合支援拠点をしっかりと運営する。その中で人員体制の強化や虐待対応のスキルアップに努め、子供や家庭に寄り添った支援を充実させる。その上で、児童相談所の設置や最適な運営方法の検討を進めていく。

コミュニティ集会施設、災害時緊急一時避難所 ほか (質問時間69分)



地区防災計画の進捗と今後

地区防災計画の進捗と今後について市の考えは。

地域防災計画に位置付けられた地区防災計画はないが、今後はその位置付けよりも地域の内発的な取り組みを優先し、日頃から行える内容等を地域で発信することから進める。地域主体の計画作りを基本に、各地域の計画作成を支援していく。

市立中央病院等のサイバー攻撃対応

10月31日四国の中核総合病院の電子カルテシステムがランサムウェアに感染し、データが暗号化された。中央病院のサイバーセキュリティは万全か。

電子カルテシステムは導入当初から原則外部との接続をしない仕様であり、暗号化された回線を使用する。令和2年度にはランサムウェア攻撃対策の機能を実装した。今後もサイバ

攻撃に警戒し、対策を講じる。サイバー攻撃に対する市役所の防御策

12月上旬、庁内グループウェアに外部からの侵入が発生したが、市役所全体の防御策は大丈夫か。

今回のサイバー攻撃では、住民情報には影響がなく、職員からの迅速な報告により早期対応ができた。今後も情報の分割管理や通信暗号化といった技術的対策と職員向けの研修や訓練等を通じた意識啓発に取り組む。



所属変更

やの正史議員が令和3年11月17日付で政新会を脱会され、無所属となりました。ひぐち光冬議員が令和3年12月17日付で日本共産党西宮市会議員団を脱会され、無所属となりました。

Table with columns for dates (3月, 2月) and meeting types (本会議, 特別委員会, etc.).

# 委員会の活動状況

## 総務 常任委員会

大石 伸雄<sup>長</sup> まつお正秀<sup>副</sup>  
 大川原成彦 河本 圭司  
 中尾 孝夫 八木米太郎  
 八代 毅利

施策研究テーマを8月に確定して研究をスタートし、新型コロナウイルス感染症対応で行政組織の課題が浮き彫りになった点も踏まえ3点を調査研究しております。

①「第5次西宮市総合計画にかかる事業計画の中で予算執行や事業進捗の制限をしている事業の今後について」は、2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症対応で10項目の事業が中断されていましたが、令和4年度より一部の事業が再開されることになりました。これからは、現時点での進捗状況及び今後の方針を調査研究する予定です。

## ②「職員の能力を最大に引き出す今後の人事制度について」

は、数年続いた職員の不祥事やコロナ禍における保健所の業務逼迫を受けての応援体制などを検証する中で、公務効率の確保等の観点から、勤務実績不良の職員に対し分限処分も含め、適切に対応していく必要が考えられるなど、他市の取り組みも調査し市当局に提言する予定です。

## 民生 常任委員会

大原 智<sup>長</sup> ひぐち光冬<sup>副</sup>  
 岩下 彰 大迫純司郎  
 川村よしと 町田 博喜  
 吉井 竜一 脇田のりかず

③「今後の内部統制や監査制度の在り方について」は、令和3年9月定例会において市当局から所管事務報告を受け、本格運用の始まる内部統制制度により、監査委員にとっても内部統制に依拠した監査が効率的かつ効果的に実施できるよう、委員会としても調査研究し市当局に提言する予定です。また、管外視察がコロナ禍でできない中ですが12月23日には関西学院大学の石原教授を招いて勉強会を実施し大変勉強になりました。

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では「施策研究テーマ」について掲載しています。

（長）＝委員長 （副）＝副委員長 （記事は1月27日時点）

## 次に、「空き地・空き家対策事業について」

は、昨年12月22日に委員会提言をまとめ、市当局に提出しました。「西宮市空家等対策計画」の改定事業に合わせることで、その比重が、管理不全の空き家の解消を目指した提言となったことは否めませんが、同様の課題を抱える空き地対策についても研究の結果を盛り込みました。

## 健康福祉 常任委員会

うへだあつし<sup>長</sup> 多田 裕<sup>副</sup>  
 河崎はじめ 澁谷 祐介  
 田中 正剛 野口あけみ  
 山口 英治 よつや 薫

昨年6月以来、本委員会（所管：市民局・産業文化局・環境局他）が担う事業案件に対する議論と並行して、本委員会で決定しました3つの施策研究テーマについての議論に全力で取り組んでおります。

「新型コロナウイルス感染症対策に係る経済支援策について」は、昨年10月に緊急提言書を市当局に提出しました。市当局も真摯に検討され、12月議会で新事業として採用されたものもあります。今後は、第6波以降の感染状況を見据えて、必要な支援策を協議し、第2回目の提言を行うべく議論を深めてまいります。

## 最後に、「生涯学習事業の果たす役割と方向性について」

は、委員会の協議を経て、小項目を①「生涯学習・地域活動におけるICT活用の可能性」、②「公民館・図書館・宮水学園などにおける「学び」がもたらすもの」と決定しました。いよいよ本年1月から、この議論もスタートさせました。他市の事例も調査して、全庁横断的な生涯学習事業を目指し、研究を進めてまいります。

当委員会は保健所を含む健康福祉局及び西宮市立中央病院を所管しております。

本市における新型コロナウイルスワクチン接種事業は希望する多くの市民に2回の接種を実施できました。現在準備を進めている追加接種については、これまでより円滑な接種となるよう委員会として関わっています。また、実施が予定されている小児接種（5～11歳）については課題も多く、より慎重な審議を行ってまいります。

市立中央病院と県立西宮病院の統合により令和7年に開院が予定される「西宮総合医療センター」

ター(仮称)については11月19日にその基本設計の概要が示されました。開院後も運営費として多額の市税が投入され続けることもあり、市民の健康増進に資する病院となるよう、中央病院の跡地活用も含めて、審査を行っております。

■本年度の施策研究テーマ

「ヤングケアラーについて」

大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や介護などを行う子どもであるヤングケアラーについては、昨今大きな社会問題となっております。過量なケアに追われることで、成長過程に必要な様々な学びの機会が損なわれているような事例には、早期の支援が必要と考えます。本市においては現在具体的な取り組みがなされておらず、委員会では、他自治体の先進事例を参考としつつ、本市における本格的な支援が早期に開始できるように提言を行ってまいります。

教育こども  
常任委員会

- 菅野 雅一(長) 松田 茂(副)
- 江良健太郎 かみたにゆみ
- 坂上 明 佐藤みち子
- 田中あきよ 山田ますと

令和3年度の施策研究テーマである「子供の体力・運動能力について」と「子ども家庭総合支援拠点について」に関して10月20日から3日間、集中的に勉強会を実施しました。今後も調査・研究を進めます。

■子供の体力・運動能力について

本市の子供たちの体力・運動能力の低さを深刻に受け止め、施策研究テーマにしました。勉強会では、本市教育委員会の指導主事から話を聞き、この取り組みの先進自治体である大分県や子供の遊び場づくりを進める東京都千代田区とweb会議を開きました。

■子ども家庭総合支援拠点について

市は1月、児童虐待の防止などで大きな役割が期待される子ども家庭総合支援拠点を本庁舎内に設置しました。勉強会では、兵庫県の西宮子ども家庭センター(児童相談所)所長や本市で支援業務を担当する係長から話を聞いたり、姫路市とweb会議を開きました。

委員からは拠点の機能強化を図る観点から配置人員の増員や人材育成のほか、家庭の孤立化を防ぐ取り組みの重要性などの意見が出されました。

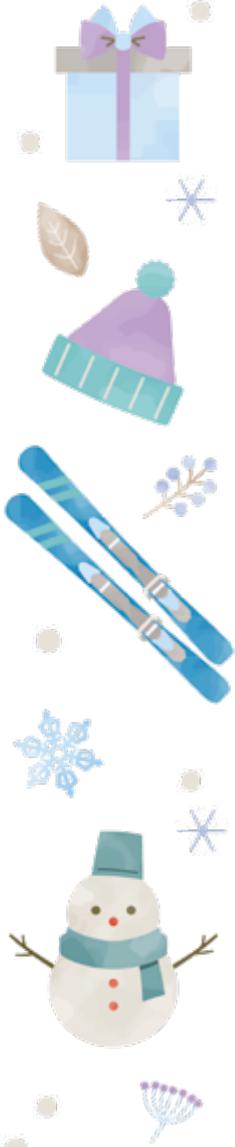
建設  
常任委員会

- 篠原 正寛(長) 一色 風子(副)
- たかのしん 花岡ゆたか
- 福井 浄 松山かつり
- やの 正史

■施策研究テーマ

当市議会では一般的な議会職務たる予算・決算及び議案の審査、当局報告に意見を述べる所管事務報告のほか、担当業務の中から重要テーマを選び、調査研究、提言を行う「施策研究」という他の市議会に無い独自の仕組みを設置しています。当委員会5つのテーマについての進捗は次の通りです。

- ①リソウ鳴尾浜跡地利活用の早期決定については民間活力を導入し、極力費用をかけず、できるだけ地代や利益を得る、という方向で諸条件を検討中です。
- ②本市開発事業の課題と地区計画制度の在り方については条例改正について提案する、市民への周知や知識向上の手段を提案する、地区計画を再度点検・啓発する、以上の方向で提言に向けて協議を行っています。
- ③住宅セーフティネットとして目指すべき公営住宅の在り方についてはこの先10年の市営住宅整備・管理計画が策定されることに合わせ、まず30年後の理想を出し合い次の10年に何をすべきか提言をまとめています。
- ④工業用水道事業の今後の在り方については利用者の撤退に合わせ事業縮小を試みていますが、産業を守りながらどのように持続可能な仕組みが構築できるのか調査研究しています。
- ⑤本市水道事業の代表的課題と将来像についてはリスクを水源喪失と電源喪失に分けそれぞれどうやって市民に水を届けるか、その際の課題・ネックは何かについて洗い出し、提言を目指します。



常任委員会に関する情報は  
こちらをご覧ください。



議案等審議結果一覧表

(令和3年12月定例会)

全会一致で可決されたもの

Table with 4 columns: 市長提出 (市長提出), 議員提出 (議員提出), 案件名 (案件名), 報告 (報告). Rows include budget items, amendments, and reports.

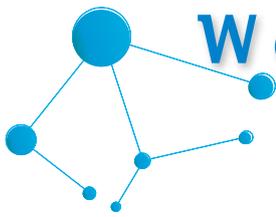
※退場者がいた場合は、下表「表決態度が分かれたもの」に記載しています。

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table with columns for political groups (会派名等) and individual council members (議員名). Rows list specific cases and their voting status.

※採決結果の○は、提出された議案などが賛成多数で可決されたことを、×は否決されたことを示しています。 ※「退場」は、採決に参加しなかったことを示しています。



# Web会議形式で勉強会を開催

西宮市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、令和3年度の管外視察の実施を取りやめています。こうした中、健康福祉常任委員会・教育こども常任委員会では、Web会議を活用し、他自治体との勉強会を実施しました。

各常任委員会の活動状況は9・10ページに掲載しています。→



**未来を決める大切な選挙です  
忘れずに投票しましょう**



**西宮市長選挙  
西宮市議会議員補欠選挙  
3月27日(日)**

**期日前投票 3月21日(月)~3月26日(土)**

任期満了に伴う**西宮市長選挙**と**西宮市議会議員補欠選挙**が行われます。投票日に予定のある方は、期日前投票や不在者投票をご利用ください。

**記号式投票が導入されます**

今回の選挙(当日の投票)では、あらかじめ候補者名の印字された投票用紙に丸印を書いて投票する「記号式投票」が採用されます。

※期日前投票や不在者投票、点字投票は、従来通り候補者名を書く「自書式」での投票になります。

《イメージ図》

○			○をつける欄
西宮次郎	阪神太郎	兵庫花子	候補者氏名

**市議会の虚礼廃止にご理解・ご協力をお願いします**

**公職選挙法により、次のような行為は禁止されています**

**寄附の禁止**

- 議員や後援会が、市民などにお中元・お歳暮を贈ること。
- 議員や後援会が、市民などに祝儀、イベントの寄附、香典を出すこと(議員自らが出席する結婚披露宴での祝儀や葬式における香典を除く)。

**寄附の勧誘・要求の禁止**

- 有権者が議員に対し、寄附などを求めること。

**あいさつ状の禁止**

- 議員が、市民などに年賀状、暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと(自筆の答礼は除く)。

**有料広告の禁止**

- 議員や後援会が、市民などにあいさつを目的として、新聞、テレビなどに有料広告を出すこと。

